

平成28年 3月25日

## 審査経過及び講評

新市立島田市民病院建設基本設計業務委託  
公募型プロポーザル審査委員会

### 1 委員構成

委員長	服部 隆一	市立島田市民病院事業管理者
委員	岩堀 幸司	東京医科歯科大学院医歯学総合研究科非常勤講師
委員	伊関 友伸	城西大学経営学部教授
委員	渋谷 忠志	静岡県経営管理部理事
委員	高木 繁	島田市副市長
委員	牛尾 伸吾	島田市市長戦略部長
委員	安原 正明	島田市都市基盤部長
委員	村田 敬二	市立島田市民病院院長
委員	青山 武	市立島田市民病院副院長
委員	森田 智之	市立島田市民病院事務部長

### 2 特定に至る業務日程

平成27年12月15日(火)	第1回審査委員会開催(プロポーザル審査基準の審議等)
平成27年12月22日(火)	プロポーザルの公告
平成28年 1月 5日(火)	質疑締切
平成28年 1月12日(火)	質疑回答
平成28年 1月13日(水)	参加表明書受付締切
平成28年 1月15日(金)	参加資格確認結果の通知
平成28年 1月26日(火)	一次審査、一次審査結果の通知、技術提案書の要請
平成28年 2月 1日(月)	技術提案書作成にかかる質疑締切
平成28年 2月 5日(金)	技術提案書作成にかかる質疑回答
平成28年 2月23日(火)	技術提案書受付締切
平成28年 3月 1日(火)	第2回審査委員会開催(各社技術提案書についての審議等)
平成28年 3月13日(日)	公開ヒアリング開催
	第3回審査委員会開催(二次審査、業務委託候補者の選定)
平成28年 3月15日(火)	二次審査結果の通知
平成28年 3月25日(金)	審査経過及び講評の公表

### 3 審査経過

基本設計者選定にあたっては、新市立島田市民病院建設基本設計業務委託公募型プロポーザル実施要領及び新市立島田市民病院基本設計業務委託プロポーザル審査委員会要綱に基づいた新市立島田市民病院基本設計業務委託プロポーザル審査委員会(以下、「審査委員会」という。)を設置し、公募型プロポーザル方式に係る手続き開始の公告等を平成27年12月22日付けで公告した。

#### 【参加資格確認】平成28年 1月15日(金)

- 平成28年1月13日(水)に参加表明書の受付を締め切り、6社以上から参加表明書の提出があった。
- 参加表明書の提出があった応募者に対して、プロポーザル実施要項の「5. 応募者の条件」に沿って要件を確認し、すべての応募者が参加資格を満たしている事を確認した。

## 【一次審査】平成28年 1月26日（火）

一次審査においては、事務所の評価、担当チームの評価、追加提案の評価、ローコスト事例の評価について項目に沿って審査を実施した結果、上位6者を一次審査通過者として選定した。評価の概要は以下のとおりである。

### （1）事務所の評価

- ・一級建築士の技術者数は、応募者すべてが50人以上を有しており差はなかったが、公的医療機関の実績評価において、提出案件の数により最高得点者と最低得点者について、10点の差がついた。

### （2）担当チームの評価

- ・担当チームの技術資格評価について、最高得点者と最低得点者の得点差は2点であった。
- ・担当チームの実績評価について、最高得点者と最低得点者の得点差は、管理技術者の実績で5点、意匠主任技術者の実績で1.7点、構造主任技術者の実績で1点、電気設備主任技術者の実績は各者同点、機械設備主任技術者の実績で2点であった。
- ・担当チームの経験年数評価については、最高得点者と最低得点者の得点差は1点であった。

### （3）追加提案の評価

- ・各応募者から積極的な提案があり、1者のみ1点差がついた。

### （4）ローコスト事例の評価

- ・各応募者から積極的な提案があり、得点差はなかった。

### （5）評価において点差が生じた事項

- ・事務所評価の実績、及び担当チーム評価において、評価対象とならない公的医療機関ではない実績を上げた応募者があったことにより点差が生じた。（事前の質疑及びその回答により、対象外である旨は承知された上での提出であったと思われる。）
- ・管理技術者の実績評価について、過去の実績・立場が管理技術者であったのか、主任技術者であったのかにより点差が生じた。

### （6）一次審査通過者を6者とした理由

- ・評価の結果、4位～6位の差が1.3点と僅差であり、事務所の規模・実績、担当チームの評価のいずれも同等レベルと判断できるため、一次審査通過者を1位～6位までの6社とし、7位以下については、6位との得点差が6点以上と大きかったため、落選とした。

## 【二次審査】平成28年 3月13日（日）

- ・一次審査を通過した6者に対し、平成28年3月13日（日）に二次審査の公開ヒアリング（技術提案書の説明20分＋技術提案書に対する質疑応答30分）を実施した。
- ・二次審査においては、管理技術者および意匠主任技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力の評価、担当チームの業務理解度の評価、実施方針及び提案テーマ①～⑤に対する技術提案書の的確性、独創性、実現性について総合的審査を実施した。
- ・公開ヒアリング実施後に、第3回審査委員会を開催し、最優秀者及び優秀者を選定した。

### 〈提案テーマ〉

- ① 建設コスト及びランニングコストの縮減対策と設計時のコストコントロールの手法について
- ② 医療を取巻く環境の将来変化に対する建築的対応について
- ③ 病院の各種スタッフの意見集約方法と合意形成の手法・手段について
- ④ 軟弱地盤への対応策及び災害拠点病院としての対応について
- ⑤ 近隣及び自然環境への配慮について

(1) 得票数及びその順位

- ・各評価項目に対する各審査委員の採点結果をもとに、審査委員が1票ずつを投票した。
- ・投票は、まず最優秀者選定のための投票を行い、次に最優秀者に特定された企業を除いて優秀者選定のための投票を行った。
- ・各審査委員全員の確認のもと、以下の通りの得票結果から、最優秀者及び優秀者を選定した。選定にあたっては、匿名性を確保するため、社名は伏せて審査を行った。

最優秀者選定の得票数

		得票数	順位
最優秀者	F社 株式会社 内藤建築事務所	6票 / 10票中	1位 / 6者中
	D社	2票 / 10票中	2位 / 6者中
	A社	1票 / 10票中	3位 / 6者中
	B社	1票 / 10票中	3位 / 6者中
	C社	0票 / 10票中	5位 / 6者中
	E社	0票 / 10票中	5位 / 6者中

優秀者選定の得票数

		得票数	順位
優秀者	D社 株式会社 梓設計	6票 / 10票中	1位 / 5者中
	B社	2票 / 10票中	2位 / 5者中
	E社	2票 / 10票中	2位 / 5者中
	A社	0票 / 10票中	4位 / 5者中
	C社	0票 / 10票中	4位 / 5者中

以上の結果、最優秀者及び優秀者を次のとおり選定した。

**最優秀者 : 株式会社 内藤建築事務所**

**優秀者 : 株式会社 梓設計**

※新市立島田市民病院建設基本設計業務委託公募型プロポーザルにおける選考基準に基づいた審査の結果であり、各事業者の社会的な評価ではありません。

(2) 全体講評

今回の公募型プロポーザルは、病院建設についての豊富な知識・経験、また、高度な企画・調整能力及び技術力を有し、かつ、昨今の建設費の高騰等の社会的背景や病院経営の観点も含め、適正な建設費で整備するための資質を有した事業者の選定を目的として実施した。

現有敷地の限られた範囲及びローコストかつ高品質な病院建設を目的とする難しい条件であったが、示唆に富んだ数多くの提案があった。

参加各者は、豊富な病院建築の設計業務実績を持ち、かつ、設計チームの編成にあたっては、管理技術者を中心とした優秀な人材を配置すると共に、社を上げてのバックアップ体制や積極的な病院職員とのコミュニケーション、建設コスト抑制への提案など、本事業の特徴を深く理解し、本事業に参加しようとする意気込みを十分感じ取れる内容となっていた。

課題に対する技術提案については、各者とも与えられた条件を的確に把握し、各課題に対して確かな裏付けのもとに、具体的な提案が示されており、総じて水準の高い提案であった。

### (3) 個別講評

#### ① F社（最優秀者：株式会社 内藤建築事務所）

最優秀者として特定されたF社は、本事業の厳しい財政的制約をはじめ、敷地の状況、課題等を十分に理解した、現実的な技術提案であった。具体的には、建設コスト縮減のために、矩形をベースとするブロックプラン、整形でコンパクトな平面構成、3看護単位の病棟構成による階数減などの堅実な提案が評価された。また、建設コストから運営コストに至るまで、縮減効果を数字により具現化していたことも取り組み意欲が感じられた。

種々の制約がある中で、自由度の高い無柱空間や更新性に優れる設備シャフトの配置、将来の他用途への転換に配慮したフレキシブルシャフトの事前整備、チーム医療に対応する病棟内のスタッフサポートエリアの提案など、医療機能を第一に考え、患者及び職員アメニティにも配慮された設計思想が各委員から高く評価された。

災害対応についても、大規模震災だけではなく、パンデミックや原子力災害等への考え方が提案されていることや、病院職員との対話を重視した姿勢の提案、島田市の地域性を考慮した提案など、広い視野に渡った提案が評価された。

また、ヒアリングにおける意匠主任技術者を中心とする積極性・意見集約力・コミュニケーション能力への評価も高く、総合的評価として最優秀者に選定された。

#### ② D社（優秀者：株式会社 梓設計）

優秀者として特定されたD社の特徴は、免震構造の「診療・入院ブロック」と、制震構造の「外来ブロック」の2ブロック化により、コスト縮減を図る提案であった。その他、コンパクトでシンプルな形状とすることや、構造形式の工夫等で計約10億円ものコストダウンを図る提案が示されるなど、高いコスト意識を持っている点が評価された。

また、収益が出やすい部門の面積と将来的な外注化が図れる部門等の面積配分について、メリハリを持たせる設計思想が評価された。

一方で、屋上階にエネルギーセンターを配置することで、近隣への騒音・振動の問題や配管の短縮化などが図られるという提案であったが、更新時への配慮などを含めた総合的な提案が望まれた。

また、積極的な各種緑化計画による環境整備の提案であったが、維持・メンテナンスに対する検討も望まれた。

ヒアリングにおける意匠主任技術者の本業務に対する姿勢、理解度は高く評価された。

#### ③ A社

A社は、フロントローディングの考え方による効率的な意見集約プロセスについて評価が高かった。コスト縮減に対する意識も高く、全体を通じた本業務への理解度は、一定の評価を得たものの、縮減効果については比率(%)が示されただけに留まり、もう一步踏み込んだ具体的な提案が求められた。

また、県道からの右折レーンを設けるための課題等については熟知しており、評価を得られたものの、さらなる踏み込んだ提案も望まれた。

軟弱地盤対策については、唯一杭基礎を用いない、地盤改良と直接基礎を組み合わせた提案であったが、安全性を担保する具体的な提案が求められた。

#### ④ B社

B社は、1フロア3看護単位と2看護単位の混合病棟構成の提案であった。設計仕様の「見える化」による病院スタッフとのコスト意識の共有化の手法は高く評価される所であった。

また、管理技術者、意匠主任技術者の本業務に対する取組意欲も評価された。

機能特性に応じた分棟化と構造形式を選択した提案は、コスト縮減策として評価された。一方で、病院本体の構成は、ロングスパン化によるフレキシブルなエリアと、急性期医療の核となるエリアを区分した提案であるが、将来の変化についても具体的な提案が求められた。

また、提案された病棟の配置計画や感染病室等への配慮について、より具体的な提案が望まれた。

⑤ C社

C社は、近隣環境への配慮及びコスト縮減を図った三角形の1フロア3看護単位（最上階は2看護単位）の病棟構成の提案であった。三角形の形状ながらも構造的には矩形グリッドをベースとした架構とし、コスト増とならない提案は他社と比べて独創性に富んでおり、一定の評価があった。

また、各階に計画されたスタッフモールとスタッフラウンジ、メンテナンス性の良い外部設備シャフト、「島田らしさ」を取り込んだサイン計画など積極的な提案がみられた。

ただし、三角形状によるトータルコスト増への懸念や、利用者の位置認識への迷いへの不安を払拭するには至らなかった。

⑥ E社

E社はスタッフ専用動線「サポートゾーン」の提案や格子状地盤改良と摩擦杭を併用した軟弱地盤対策に対する評価が高く、柔らかな印象を与える曲面的な外観イメージの提案や、積極的な緑化による近隣及び自然環境に対する考え方も評価された。

ただし、曲面採用に伴う総合的なコスト増への懸念や、各種緑化計画による維持・メンテナンスに対する検討も望まれた。

また、県道からの各種車両の動線計画や工事中の調整池の検討についても具体的な提案が望まれた。